

1. 活動報告

1) 総合科目 (14年4月)

▽春学期 AB 月曜 1 時限

第1回 4月14日

講義題目『ガイダンス』

講義担当者：谷口智之 (生命環境系)

第2回 4月21日

講義題目『緑の健康診断』

講義担当者：川田清和 (生命環境系)

第3回 4月28日

講義題目『花の色の不思議』

講義担当者：水田大輝 (生命環境系)

2) 外部資金獲得状況 (14年4月)

西村健 (分担)

<科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究>

「iPS 細胞の多能性を可視化する新しい分子イメージング法の開拓」
(H26.4 - H28.3)

石川香 (分担)

<科学研究費補助金 新学術領域 (領域提案型) >

「マトリョーシカ型進化原理 (総括班)」 (H26.4 - H27.3)

3) 業績 (14年4月)

<原著論文>

Neves, M. A., 小林 功, 中嶋 光敏

『親水性抗酸化物質を高濃度で内包した高安定液体マイクロカプセルの作製と特性評価』

浦上財団研究報告書 21, 10-16 (2014年3月). ISSN 0915-2741.

Khalid, N., Kobayashi, I., Neves, M. A., Uemura, K., Nakajima, M., Nabetani, H.

" Monodisperse W/O/W emulsions encapsulating L-ascorbic acid: Insights on their formulation using microchannel emulsification and stability studies. " *Colloids and Surfaces A: Physicochemical and Engineering Aspects*. Accepted (April 7, 2014).Dammak, I., Neves, M. A., Nabetani, H., Sayadi, S., Nakajima, M. " Transport properties of oleuropein through nanofiltration membranes. " *Food and Bioproducts Processing*. Accepted (April 15, 2014).

<学会発表・招待講演>

源川拓磨

二次元相関分光法シンポジウム

演題：『ポストハーベストおよび食品工学における二次元相関分光法の応用』<招待講演>

日時：2014年4月15日

場所：関西学院大学理工学部三田キャンパス

池端慶

日本地球惑星科学連合 連合大会 2014 年大会

演題：『フェムト秒 LA-MC-ICP-MS による銅同位体比局所分析法の開発と鉱石試料への応用』<招待講演>

日時：2014年4月28日

場所：パシフィコ横浜

K. Nishimura, T. Kato, D. Ayakawa, L. Oinam, M. Ohtaka, A. Fukuda, M. Nakanishi, K. Hisatake

Keystone Symposia "Stem Cells and Reprogramming"

演題：『Manipulation of Klf4 expression produces paused iPSC stalling at distinct intermediate stages of reprogramming』(ポスター発表)

日時：2014年4月6日~10日

場所：Olympic Valley, USA

Okamoto Y., Kon K., Watanabe K., Yoshikawa T., Salaenoi J., and Ishikawa S.

WESTPAC 9th International Scientific Symposium.

演題：『Preliminary survey on food-web structure and water characteristics of bivalve aquaculture area in Bandon bay, Surat Thani province, Thailand.』(ポスター発表)

日時：2014年4月23日

場所：Nha Trang, Vietnam.

<講師>

源川拓磨

赤外・紫外応用技術展, 赤外・紫外特別セミナー

「赤外線技術の応用：農業・食品工学分野への応用」
2014年4月23日 パシフィコ横浜

4) 掲載

Marcos A. Neves

<Marquis Who's Who in the World 2014 (31st Edition) に掲載>

Marcos A. Neves 助教（筑波大学 生命環境系 国際地縁技術開発科学専攻）は、世界の著名な人名録の一つであるアメリカの Marquis Who's Who in the World, 2014 年版（31st Edition）に掲載されました。Marcos Neves 助教は、既に Marquis Who's Who in the World（2009, 2011 年版）への掲載が決定しております。これは、Marcos Neves 助教の食品加工工学分野における研究成果が世界的に高い評価を受けたことによるものです。

2. スケジュール

<14年5月>

12日（月）

総合科目 第4回

講義題目『iPS細胞の実用化に向けて』

講義担当者：西村健（医学医療系）

19日（月）

総合科目 第5回

講義題目『家畜とヒトのくらし』

講義担当者：浅野敦之（生命環境系）

26日（月）

総合科目 第6回

講義題目『生物の環境応答』

講義担当者：櫻井啓輔（生命環境系）

27日（火） 14:00～15:00

テニュアトラック普及・定着事業「審査等説明会」

総合研究棟D 115会議室

4. 若手イニシアティブレポート

文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」次代を担う若手大学人育成イニシアティブ（平成19年度～平成23年度）プログラムを経験した「若手イニシアティブ教員」の現在の活動状況レポートです。

■受賞

丹羽隆介

平成26年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞

受賞題目『昆虫ステロイドホルモン生合成に関する総合的研究』

テニュアトラック普及・定着事業 News Letter vol 28

[平成26年5月号]

編集・発行：若手研究者運営調整部会

*当ニュース・レターは、毎月1回第1木曜日に配信いたします。

連絡先：テニュアトラック支援室